

ロシアとウクライナの軍事力の差は？



ウクライナ軍 ※装備は旧ソ連製が主体

総兵力：68.8万人(現役)+40万人(予備役)



27個旅団 + 予備役による地域防衛旅団30個



哨戒艇 (13隻)



戦闘機・攻撃機 (125機)



ロシア軍 ※21年末の近代化・新型装備比率71%と発表

総兵力：119万人(現役)+150万人(予備役)



13個師団、53個旅団



主要水上艦(31隻)、哨戒艇(7隻)
掃海艇等(125隻)、揚陸艦(20隻)



爆撃機(137機)
戦闘機・攻撃機(857機)



ロシアによるウクライナ侵略については、

- ウクライナは、ロシアに侵略を思い止まらせるような十分な防衛力をもっていなかった
- ウクライナは、同盟国を持っておらず、核の傘にも守られていなかった といったことからロシアを抑止することができず、数万人が死傷しました。



こうしたウクライナ侵略の経緯から、国民の命と平和な暮らしを守るための教訓として、次のようなことが挙げられます。

- 「力による一方的な現状変更は困難」と思わせる抑止力が必要
- そのためには相手の「能力」に着目した防衛力(備え)が必要